

劇遊び『どうぞのいす』では、子どもたちが「やってみよう！」「頑張ってみよう！」という思いを持って取り組みました。子どもたちにとって劇遊びは初めてであり、何よりも大切な経験になったと思います。うさぎぐみでの生活も、残すところあと1ヶ月です。進級したばかりの頃から、いろいろな経験を通して、今ではすっかり頼もしさも感じます。友だち同士で遊びを考えて盛り上がり、けんかになった時は子どもたちだけで話をして解決したり、目に見えない部分の成長も感じる事が増えました。「4月からは？」と質問すると、「ひつじぐみ！！」と、元気いっぱい答える子どもたち。進級への期待と喜びを感じながら、残り1ヶ月も元気に、楽しく、心も身体も十分に動かして過ごしていきたいと思います



卒園するぞうぐみのみんなへアイロンビーズを使ってプレゼントを作っていた時のこと。

Aちゃん「OOちゃんにこれあげたいなあ♪」  
Bちゃん「ピンクでつくったらかわいいかも！」  
Aちゃん「そうしょっか！」

プレゼントをする相手のことを思い、喜んでくれる姿を想像しながら心を込めてプレゼントを作る姿を見ていると心が温かくなりました。

ひつじ組での生活もあと1ヶ月となりました。劇遊びを楽しむ中で「OOくん頑張ってたね」「ねずみが逃げるところ、いつも楽しみにしているよ」「よくばりおじいさん、穴に入るところ面白いね」など、自分の役だけでなく友だちの役にも関心を持って言葉をかける姿が見られ、認め合うことで刺激になり、劇がどんどん面白くなっていきました。劇遊びを通して、表現する面白さやみんなと一緒にお話の世界を作り上げていく楽しさ、そして観てもらおう喜びを感じていきました。いきいきと表現する子どもたちの姿に成長を感じ、大変嬉しく思いました。今月は配役を替えて、さらに楽しんでいきたいと思います。

この一年、友だちとの関わりがぐんと増え、思いの違いからトラブルになることもありましたが、自分なりの言葉で気持ちを伝え、友だちの思いに気付いたり受け入れたりし、子どもたちで解決する姿も見られるようになってきました。また、友だちが泣いていたなら「どうしたの？」と優しく声をかけて助けてあげようとしたり、一人ではできないようなことは「一緒にしよう！」と協力し合ったり、心の成長もたくさん見られます。大きくなった喜びと自信を持って進級できるように残りの日々も大切に過ごしていきたいと思います。



おむすびころりんの劇遊びで小さなつづらを開けたら中から、たくさんの大判小判が出てきます。

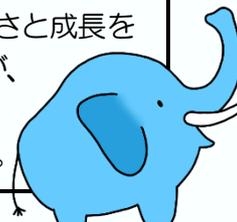
担任「大きなつづらには何が入ってるのかな？」

Aくん「きっとおやつがいっぱい入ってるんやで!!!  
あと小判少しやな。」と  
Aくんが思うつづらの中は夢がいっぱい！かわいいですね。

秋に植えたチューリップの球根から芽が出始め、春の訪れを感じている子どもたちです。保育センターでの生活も残り1ヶ月となり、ぞう組では今、卒園に向けて少しずつ準備を進めています。

お別れ会で、異年齢の友だちに渡すプレゼントは、どんなものが喜ばれるのか、それを作るためにはどんな材料が必要なのか、自分たちの力で作れるものなのか、なども踏まえながら考え、話し合いを進めています。

また、保育修了式で歌う『さよならぼくたちのほいくえん』の歌も、これまで経験してきたことをみんなで出し合い、思い出を共有しながらオリジナルの歌詞を作っています。一つひとつの取り組みの中で、気持ちを一つにし、意見を出し合いながら話し合いを進める姿に頼もしさも成長を感じています。残り少ない日々となり、寂しさも感じますが、何事にも楽しんで取り組むみんなの姿に励まされています。最後の日まで、笑顔いっぱい過ごしていきたいと思います。



お別れ会の取り組みが始まったある日のこと。

Aくん「せんせい、ぼくたちもうすぐ卒園だね。」  
保育者「そうだね。さみしいな。」  
Aくん「だいじょうぶだよ。まだ甲山遠足とかバイキング給食とかあるからさ。元気出して！」

前向きな言葉で慰めてくれたAくんでした。相手の気持ちに寄り添ってくれる姿に成長を感じました。